

【別紙8】ソフトウェア要求仕様

1 ソフトウェアの共通仕様

ID	共通仕様	
1	<p>○調達するソフトウェアについては、市場で調達可能であり、調達時点において最新かつ豊富な稼働実績を有し、さらに受注者が動作保証できるものを提供すること。</p> <p>○オープンな標準規格による相互接続性が確保でき、製品間の相互依存関係を極力生じさせないようにすること。</p> <p>●現行システムにて開発し、本調達機器へ移行予定のアプリケーションプログラムが確実に動作すること。</p> <p>○機器に導入するソフトウェアのうち、エージェントとして機能するソフトウェアについては「調達区分：本省サーバ機器」の受注者が一括して調達を行うこととする。「調達区分：拠点機器その1、拠点機器その2、拠点機器その3」の受注者は厚生労働省から提供を受けた後、調達した機器への導入及び設定を行うこと。</p> <p>○帳票管理クライアントソフトウェアについては、エージェントとして動作を想定するものではないが、「調達区分：本省サーバ機器」側の帳票管理ソフトウェアとの連携を鑑み、「調達区分：本省サーバ機器」が調達を行うこと。「調達区分：拠点機器その2」の受注者は厚生労働省から提供を受けた後、調達した機器への設定を行うこと。</p> <p>○クライアント端末等からサーバにアクセスするのに必要となるアクセスライセンスについては、「調達区分：本省サーバ機器」の受注者が調達を行うこと。ただし、「調達区分：拠点機器その1」、「調達区分：拠点機器その2」及び「調達区分：拠点機器その3」において「調達区分：本省サーバ機器」が導入しないソフトウェアにアクセスライセンスが必要となる場合については、「調達区分：拠点機器その1」、「調達区分：拠点機器その2」及び「調達区分：拠点機器その3」の受注者が必要数を用意すること。</p> <p>○各ソフトウェアの要件に対して、カスタマイズでの対応及び複数のソフトウェアによる対応も可とする。</p> <p>なお、○は「調達区分：拠点機器その3」に課す内容であり、●は「調達区分：本省サーバ機器」、「調達区分：拠点機器その1」及び「調達区分：拠点機器その2」に課す内容である。</p>	
2	各サーバ共通導入ソフトウェア	
①	運用管理（エージェント） 〔管理基盤、稼働監視、リソース監視〕	<p>運用監視サーバの統合運用管理機能（マネージャ機能）等と連携して以下の要件を満たす機能を提供すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの起動順序を制御したり、イベントの送受信やユーザーの管理をするなど、ジョブ管理、統合管理の基盤となる機能やコンソールのエージェント機能を有すること。</li> <li>・ネットワーク上のサーバのリソースの稼働・統計情報を収集・管理、プロセスの稼働状態を監視、サーバのリソースの稼働・統計情報を定期的に収集・保存する機能を有すること。</li> <li>・設定した閾値を超えたり、プロセスが停止したりした場合には、SNMPトラップを発行して管理者に通知する機能を有すること。</li> <li>・TCP/IPネットワークを管理するためのSNMPのエージェント機能を有すること。</li> </ul>
②	サーバ系ウイルス管理（エージェント）	<p>ウイルスチェック機能として、以下の機能及び条件を満たす機能を提供すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバへのファイル入出力通信時に、ファイルに含まれるウイルスを検索し、ウイルスの感染を検知できる機能。</li> <li>・ウイルス検出時に、駆除・削除、安全な場所に隔離といった機能を複数選んで処理できる機能。</li> <li>・管理コンソールによるリモート/集中管理（システム監視、ソフトウェアのアップデート、サーバ上のウイルス対策の管理/設定、ログの集中管理等）する機能。</li> <li>・パターンファイルの更新については、ソフトウェアベンダ等において、パターンファイルが公開されてから24時間以内に適用できる機能。</li> <li>・クライアント系アンチウイルスソフトと異なる製品を導入すること。</li> </ul>
③	バックアップ管理（エージェント）	<p>バックアップ管理機能（マネージャ機能）等と連携して以下の要件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバの内蔵ディスクの障害対応時にバックアップデータからの復元ができること。</li> <li>・ファイルのバックアップは、手動による随時実施及びスケジュールによる自動運転による実施ができること。</li> <li>・内蔵ディスクに導入しているOS、各種アプリケーションプログラムをバックアップする機能を備えること。</li> </ul>
④	セキュリティ監査（エージェント）	<p>セキュリティ監査機能（マネージャ）等と連携して以下の要件を満たすこと、若しくは、他のソフトウェア・ソリューション等との連携や本件受注者による開発により要件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッションクリティカルなアプリケーションとオペレーティングシステムに対して包括的なセキュリティ分析を実施し、多数のセキュリティチェック項目を使って脆弱性を監査する機能。</li> <li>・OS パッチの未適用、不適切なユーザーパスワード設定、不正な権限、不正なファイルアクセス、セキュリティ設定の変更、不正な設定などの違反について、複数のシステムを同時にチェックする機能。</li> </ul>
⑤	証跡管理（エージェント） 〔証跡管理、証跡LOG分析〕	<p>操作管理機能（マネージャ機能）等と連携して以下の要件を満たすこと、若しくは、他のソフトウェア・ソリューション等との連携や本件受注者による開発により要件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバ上のアクセスの証跡を取得できること。</li> </ul>
⑥	資産管理（エージェント）	<p>資産管理（マネージャ）等と連携して以下の機能を提供すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各サーバ等のOSのバージョン、パッチレベルなどの検査。</li> <li>・ハードウェアやソフトウェア情報などの構成情報の取得。</li> </ul>
⑦	起動・終了管理ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予め予定したスケジュールに従って、サーバ本体の電源投入・切断、システム停止・立ち上げを自動制御できる機能を有すること。</li> <li>・自動制御する対象サーバは、厚生労働省と協議の上、決定すること。</li> </ul>
⑧	USBポート制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>・USBポートを、接続するUSB機器製品毎に使用許可設定ができること。</li> </ul>

【別紙8】ソフトウェア要求仕様

2 ソフトウェアの個別要求仕様

ID	サーバ名/端末名	番号	ソフトウェア種別	要求仕様	調達区分			
					その1 ※1	その2 ※2	その3 ※3	本省 ※4
A-1	徴収WebAPサーバ							○
A-2	徴収DBサーバ							○
A-3	ファイルサーバ							○
A-4	帳票サーバ							○
A-5	OCR・Webアプリケーションサーバ	①	OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FTP通信が可能であること。</li> <li>・以下(②以降)のソフトウェアの動作を保証するOSであること。</li> </ul>				○
		②	Webサーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③が動作可能なHTTPサーバであること。</li> <li>・HTTPS通信が可能であること。</li> </ul>				
		③	Webアプリケーションサービスサーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J2EE及びJ2SE完全互換であり、JDKが実装されていること。</li> <li>・SOAP with Attachments API for Java(SAJJ)が実装されていること。</li> <li>・JSF(Java Server Faces)の実行環境がサポートされていること。</li> <li>・SIP(Session Initiation Protocol)に対応し、JSR116準拠のSIPサーブレットの実行環境が提供されること。</li> <li>・標準で高可用性機能をサポートすること。</li> <li>・常に最新のサーバ情報をクライアント画面に表示するプッシュ型インタフェースを実現できること。</li> </ul>				
		④	OCRサーバソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OCR読取データの確認・修正インタフェースをGUIで提供できること。</li> <li>・OCR・テキスト画像データ管理サーバに登録されたOCR読取データの検索・抽出ができること。</li> <li>・OCR読み取りの結果不読となった文字を修正する機能を有すること。</li> <li>・ユーザ認証機能を有すること。</li> <li>・二重ログインを防止する機能を有すること。</li> <li>・操作ログを保存できること。</li> <li>・保存されたログの保存期間の設定及び自動削除ができること。</li> <li>・GUIを部品化し提供できること。</li> </ul> <p>本項については、別添資料「OCR関連ソフトウェア要求仕様」を参照のこと。</p>				
		⑤	運用管理(エージェント) [ジョブ管理]	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用監視サーバの統合運用管理機能(マネージャ機能)等と連携して以下の要件を満たす機能を提供すること。</li> <li>・スケジュールジョブの実行制御、バッチスケジュールの管理ができること。</li> </ul> <p>※厚生労働省より提供</p>				
		⑥	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各サーバ共通導入ソフトウェアを導入すること。</li> </ul>				

【別紙8】ソフトウェア要求仕様

ID	サーバ名/端末名	番号	ソフトウェア種別	要求仕様	調達区分			
					その1 ※1	その2 ※2	その3 ※3	本省 ※4
A-6a/7a	OCR・テキスト画像データ管理サーバ	①	OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FTP通信が可能であること。</li> <li>・以下(②以降)のソフトウェアの動作を保証するOSであること。</li> </ul>				
		②	ディスク制御ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部共有ディスクのパラメータ設定、状態監視及び状態表示を可能とする機能を提供すること。</li> <li>・サーバから共有ディスクへのアクセスパスを二重化する機能を提供すること。また、パス切替え及びパス監視等を具備すること。</li> </ul>				
		③	OCRサーバソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用OCR用操作端末からの登録操作により、OCRテキストデータ及びOCR画像データが登録できること。</li> <li>・登録されたOCRテキストデータとOCR画像データとの関連付けを保持できること。</li> <li>・登録処理が完了したOCR読取データは、事前に設定された保存期間が経過した後、自動的に削除される。</li> </ul> <p>本項については、別添資料「OCR関連ソフトウェア要求仕様」を参照のこと。</p>				
		④	クラスタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク上で複数のサーバを適切に連携させることで、高可用性システムを実現する機能を有すること。</li> <li>・データ引継ぎ方式として「共有ディスク方式」及び「非共有ディスク方式」をサポートすること。</li> </ul>				○
		⑤	Webサーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HTTP通信サービスが提供可能であること。</li> <li>・HTTPS通信が可能であること。</li> </ul>				
		⑥	Webアプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J2EE及びJ2SE完全互換であり、JDKが実装されていること。</li> <li>・SOAP with Attachments API for Java (SAJJ)が実装されていること。</li> <li>・JSF (Java Server Faces)の実行環境がサポートされていること。</li> <li>・SIP (Session Initiation Protocol)に対応し、JSR116準拠のSIPサーブレットの実行環境が提供されること。</li> <li>・標準で高可用性機能をサポートすること。</li> </ul>				
		⑦	運用管理 (エージェント) [ジョブ管理]	A-5⑤運用管理 (エージェント) [ジョブ管理]と同じ。 ※厚生労働省より提供				
		⑧	共通	・各サーバ共通導入ソフトウェアを導入すること。				
A-8	OCR管理端末	①	OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A-5及びA-6a/7aの管理を行う機能を備えていること。</li> <li>・FTP通信が可能であること。</li> </ul>				
		②	クライアント系ウイルス管理 (エージェント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルスチェック機能として、以下の機能及び条件を満たす機能を提供すること。</li> <li>・ファイルに含まれるウイルスを検索し、ウイルスの感染を検知できる機能。</li> <li>・ウイルス検出時に、駆除・削除又はファイルの拡張子変更、安全な場所に隔離といった機能を複数選んで処理できる機能。</li> </ul> <p>※厚生労働省より提供。</p>				○
A-9	省内・金融機関連携サーバ							○
A-10	官庁会計連携サーバ							○
A-11	外部ディスク装置							○
A-12	業務系バックアップサーバ							○
B-1	原本保管サーバ							○
B-2	電子納付サーバ							○
B-3	MPN連携サーバ							○
B-4	e-Gov連携サーバ							○
B-5	電子申請APサーバ							○
C-1	統合認証サーバ							○
C-2	ポータルサーバ							○
D-1	運用操作ログ管理サーバ							○
D-2a	アップデートサービスサーバ							○

【別紙8】ソフトウェア要求仕様

ID	サーバ名/端末名	番号	ソフトウェア種別	要求仕様	調達区分				
					その1 ※1	その2 ※2	その3 ※3	本省 ※4	
D-2b	セキュリティ監査サーバ							○	
D-5	ウイルス管理/検疫管理サーバ							○	
D-6	運用監視サーバ							○	
D-7a	ファイル配布サーバ							○	
D-7b	資産管理サーバ							○	
D-8	メールサーバ							○	
D-10	運用管理端末							○	
F-1	事業場公開サーバ							○	
F-2	事業場公開DBサーバ							○	
F-3	運用管理端末							○	
F-4/5	改ざん検知等管理/運用操作ログ等管理サーバ							○	
F-6	事業場公開用認証サーバ							○	
G-1	ヘルプデスク端末					○			
R-1	RS保守サーバ				○				
R-2	RSパッチ配信用サーバ				○				
R-3	統合監視サーバ				○				
R-5	保守クライアント端末				○				
R-6	統合監視端末				○				
H-1 J-1	汎用OCR用操作端末	①	OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフィカルユーザインタフェース（GUI）を持ち、マルチユーザ、マルチタスク機能を持つこと。</li> <li>ネットワーク接続機能は、TCP/IPをサポートすること。</li> <li>システム管理機能、ユーザ管理機能の操作はGUIで操作できること。</li> </ul>					
		②	ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行システムでの後継ソフトウェアの最新版を基本とし、以下の機能を有すること。</li> <li>HTTPに対応していること。</li> <li>SSLに対応していること。</li> <li>TLSに対応していること。</li> <li>ダウンロードしたプログラムの署名を確認できること。</li> <li>以下ユーザ補助機能を有すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア フォーカスや選択範囲が変更されるたびにシステムキャレット（カーソル又は挿入ポイント）を移動する。</li> <li>イ 画像ダウンロード中や非表示時にイメージタグ内にある説明文を表示する。</li> </ul> </li> <li>XML文書をブラウザ上に表示できること。</li> </ul>					
		③	オフィス系	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行システムでの後継ソフトウェアの最新版を基本とし、以下の機能を有すること。</li> <li>MS Word, Excel, PowerPoint, Access で作成された現行資産を転用可能にするため、ファイルの読み込み、編集及び書き出しの機能。</li> </ul>					○
		④	PDFドキュメント閲覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDFファイルの閲覧を可能とするソフトウェア</li> </ul>					
		⑤	クライアント操作管理ソフトウェア（エージェント）	<ul style="list-style-type: none"> <li>検疫管理のマネージャと連携して以下の要件を満たすこと。</li> <li>クライアントのユーザ操作/デバイス使用可否/ソフトウェア導入可否の管理を行う機能を持つこと。</li> <li>全クライアント端末のファイル操作、外部媒体書き込みやアプリケーション操作に対するアクセス証跡を取得できること。</li> </ul> ※厚生労働省より提供					
		⑥	ファイル配布/検疫管理（エージェント）	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集・配布/検疫管理（エージェント）として、以下の機能を提供すること。</li> <li>各サーバ等のOSのバージョン、パッチレベル、パターンファイルなどの検査。</li> </ul> ※厚生労働省より提供					

【別紙8】ソフトウェア要求仕様

ID	サーバ名/端末名	番号	ソフトウェア種別	要求仕様	調達区分			
					その1 ※1	その2 ※2	その3 ※3	本省 ※4
H-1 J-1	汎用OCR用操作端末	⑦	クライアント系ウイルス管理（エージェント）	<p>ウイルスチェック機能として、以下の機能及び条件を満たす機能を提供すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルに含まれるウイルスを検索し、ウイルスの感染を検知できる機能。</li> <li>・ウイルス検出時に、駆除・削除又はファイルの拡張子変更、安全な場所に隔離といった機能を複数選んで処理できる機能。</li> </ul> <p>※厚生労働省より提供</p>				
		⑧	汎用OCR装置制御・文字認識ソフトウェア	<p>【文字認識機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用OCR装置で取り込んだイメージデータを認識しコンピュータシステムで扱えるコードデータに変換するソフトウェアであること。</li> <li>・手書き（数字、英字、カナ、記号、漢字）、活字（JIS OCR-B、IBM407、漢字）文字種を認識し、それぞれの字種に対応する辞書を有すること。</li> <li>・手書き文字の認識補正が行えること。</li> </ul> <p>【OCR読取機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レイアウトが異なる帳票を混在させて読み取りが可能なこと。</li> <li>・帳票種別を自動判定し、処理を実行できること。</li> <li>・帳票種別ごとに読取対象の情報項目、読取箇所的位置、システム定義情報の変更が行えること。</li> <li>・操作者の指示により、OCR読取処理を中止できること。その際、当該帳票に関わる情報の破棄が可能なこと。</li> </ul> <p>・読み取り処理方法として次の3つを行えること。</p> <p>ア&lt;無停止モード&gt; 読み取りの正常／異常にかかわらず、読み取りが停止することのないモード。</p> <p>イ&lt;異常時確認モード&gt; 読み取りが異常だった場合のみ、読み取りを中断するモード。</p> <p>ウ&lt;常時確認モード&gt; 読み取りの正常／異常にかかわらず、1枚毎に読み取りを中断してスタックへ排出した後、帳票のイメージと読取テキストを画面に表示するモード。</p> <p>【OCR読取データ確認機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用OCR装置で読み取った帳票のOCRテキストデータ及びOCR画像データの確認・修正が可能なこと。</li> <li>・郵便番号から住所を特定し、候補を表示し、上書き修正を行えること。</li> <li>・不読文字に選択候補文字が存在する場合、候補文字をリスト表示して修正できること。</li> </ul> <p>【OCR読取データの送信機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確定したOCRデータを A-5 サーバに送信し、その結果を即時に画面表示すること。その際、OCR読取データ以外にOCR装置識別番号、読取日時、OCR読取通番号、帳票種別、帳票束の識別子、読取操作を行ったユーザ識別子、画像（グレースケール8ビット階調）をサーバに送信できること。</li> </ul> <p>【OCR読取データ一時保存機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OCR読取データの送信が失敗した場合に、データを一時保存できること。保存されたデータは、自動的に再送信できること。</li> </ul> <p>【ログ管理機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各操作のログを保存し、A-5 サーバに送信できること。</li> </ul> <p>【その他、認証機能等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザ認証機能を有すること。</li> <li>・二重ログインを防止する機能を有すること。</li> </ul> <p>本項については、別添資料「OCR関連ソフトウェア要求仕様」を参照のこと。</p>				
		⑨	文字認識用知識辞書	・⑧のソフトウェアから参照できる住所・姓名データベースを備えること。				
		⑩	通信路暗号化	・SSLによる暗号化通信が可能なこと。（HTTPS、FTPS等）				
		⑪	帳票管理クライアント	<p>現行システムの後継ソフトウェアの最新版を前提とし、以下の機能を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A-4：帳票サーバから送信されたデータを帳票フォームに組込帳票データを作成し、指定のプリンタに出力が行えること。</li> </ul> <p>※厚生労働省より提供</p>				
		⑫	Java動作環境	・Javaで作成したアプリケーションが実行できること。				
		⑬	外字環境	・厚生労働省ネットワーク外字（200文字程度）が登録できること。				
		⑭	圧縮ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・zip形式にファイルの圧縮ができること。</li> <li>・パスワード付圧縮ファイルの作成ができること。</li> </ul>				
		⑮	ファイルビューア	・jtd形式のファイルの閲覧ができること。				

【別紙8】ソフトウェア要求仕様

ID	サーバ名/端末名	番号	ソフトウェア種別	要求仕様	調達区分			
					その1 ※1	その2 ※2	その3 ※3	本省 ※4
H-3 I-1 J-3 K-1	クライアント端末					○		
H-8 J-8	モバイル端末					○		
J-10a	RSシステムサーバA				○			
J-10b	RSシステムサーバB				○			
J-10c	RSシステムサーバC				○			
J-13	文書管理クライアント 端末				○			
X-1	適用徴収WebAPサーバ							○
X-2	徴収DBサーバ							○
X-3a	ファイルサーバ							○
X-3b	帳票サーバ							○
X-4	外部連携サーバ							○
X-5	OCR・Webアプリケーションサーバ		※A-5と同一構成				○	
X-6a	OCR・テキスト画像 データ管理サーバ		※A-6a/7aと同一構成				○	
X-9a	テスト・検証用バック アップサーバ							○
X-12	ウイルス管理/検疫 管理サーバ							○
X-13	運用監視サーバ							○
X-14	電子申請APサーバ							○
X-15	原本保管サーバ							○
X-16	電子納付サーバ							○
X-17	MPN連携サーバ							○
X-18	MPNシミュレータ サーバ							○
X-19	e-Gov連携サーバ							○
X-20	統合認証サーバ							○
X-21	ポータルサーバ							○
X-22	事業場公開サーバ							○
X-23	事業場公開DBサーバ							○
X-24	運用管理端末							○
X-25	クライアント端末					○		
X-26	汎用OCR用操作端末		※H-1と同一構成				○	
X-29	OCR管理端末		※A-8と同一構成				○	
X-34	構成管理サーバ							○
X-35	モバイル端末					○		

※1 その1については、労働保険適用徴収システムに係るハードウェア・ソフトウェアの賃貸借及び保守一式（拠点機器その1）の受託者に納入を求めるソフトウェアである。  
 ※2 その2については、労働保険適用徴収システムに係るハードウェア・ソフトウェアの賃貸借及び保守一式（拠点機器その2）の受託者に納入を求めるソフトウェアである。  
 ※3 その3については、労働保険適用徴収システムに係るハードウェア・ソフトウェアの賃貸借及び保守一式（拠点機器その3）の受託者に納入を求めるソフトウェアである。  
 ※4 本省については、労働保険適用徴収システムに係るハードウェア・ソフトウェアの賃貸借及び保守一式（本省サーバ機器）の受託者に納入を求めるソフトウェアである。  
 注）当資料のうち「調達区分：その3」以外の構成については、今後変更される可能性がある。

【別紙8別添】OCR関連ソフトウェア要求仕様

ID	サーバ名/端末名	ソフトウェア種別	設計仕様
A-5	OCR・Webアプリケーションサーバ	④ OCRサーバソフトウェア	<p>・下記のように汎用OCR用操作端末「⑧汎用OCR装置制御・文字認識ソフトウェア」の【OCR読取データ確認機能】と同様のデータ修正機能、入力補助機能を本サーバでも行えること。</p> <p>ア 汎用OCR装置で読み取った帳票の誤りを特定しやすくするため、汎用OCR用操作端末上にOCR画像データとテキストデータを対比して表示でき、テキストデータを修正できること。</p> <p>イ 郵便番号から住所を特定し、候補を表示し、上書き修正を行えること。</p> <p>ウ 不読文字に選択候補文字が存在する場合、候補文字をリスト表示して修正を行えること。</p> <p>エ 各帳票の修正項目フィールドに記入された項目番号、修正内容が自動的にテキスト画面の対応する項目内容に反映されること。</p> <p>オ テキスト修正時に入力項目を選択した際、対応する画像データを切り出し、拡大表示できること。</p> <p>カ すべての作業がキーボードのみの操作で実施できること。</p> <p>・A-6a/7aサーバにあるOCR読取データに対して、複数のクライアント端末からブラウザ画面にてテキストデータを検索、確認及び修正できること。</p> <p>・テキストデータの確認・修正時に、帳票管理において束（連続して帳票を読み込んだ複数帳票の固まり）で排他制御し、作業中の職員が修正中の束は他の職員が利用できないようにすること。</p> <p>・汎用OCR用操作端末「⑧汎用OCR装置制御・文字認識ソフトウェア」の【OCR読取データの送信機能】と同様に、確定したOCRデータをA-1サーバに送信し、その結果を1帳票ごとにA-1サーバ上の業務アプリケーションに連携させ、即時に画面表示できること。また、サーバへ送信する際、OCR読取データ以外にOCR装置識別番号、読取日時、OCR読取通し番号、帳票種別、帳票束の識別子、読取操作を行ったユーザ識別子、画像（グレースケール8ビット階調）をサーバに送信できること。</p> <p>・OCR読取データを複数のサーバに対して送信する機能を実装可能であること（カスタマイズによる対応も可。）。</p>
A-6a/7a	OCR・テキスト画像データ管理サーバ	③ OCRサーバソフトウェア	<p>・汎用OCR用操作端末からの登録操作により、本サーバにOCRテキストデータ及びOCR画像データが登録できること。</p> <p>・登録されたOCRテキストデータ及びOCR画像データの関連付けを保持できること。</p> <p>・登録処理が完了したOCR読取データは、事前に設定された保存期間が経過した後、自動的に削除されること。</p>

【別紙8別添】OCR関連ソフトウェア要求仕様

ID	サーバ名/端末名	ソフトウェア種別	設計仕様
H-1 J-1	汎用OCR用操作 端末	⑧ 汎用OCR装置制御・文字認識ソフトウェア	<p>以下の業務要件を満たし、また各帳票の特性をシステム定義情報として登録できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レイアウトが異なる帳票を混在させて読み取りが可能であること。</li> <li>・両面帳票の表裏の各画像データ・テキストデータを一体として扱えること。</li> <li>・帳票の挿入方向（縦/横）を間違った場合は異常データとして処理されること。</li> <li>・画像保存の必要性に応じた処理を行えること。</li> <li>・各帳票の入力項目毎の正当性チェック（桁数文字種/年月日/必須チェック等）ができること。</li> <li>・異常データとしてスタッカへ排出するか否かの条件が設定できること。</li> <li>・読み取った帳票の帳票種別を自動判定し、システム定義情報に応じた読み取りが実行できること。</li> <li>・操作者の指示により、OCR読取処理を中止できる。その際、当該帳票に関わる情報の破棄が可能であること。</li> </ul> <hr/> <p>以下の業務要件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続した帳票の項目間の加算演算ができること。</li> <li>・連続した帳票の入力項目の補完処理ができること。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取り処理方法として次の3つが行えること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア&lt;無停止モード&gt; 読み取りの正常/異常にかかわらず、読み取りが停止することのないモード。正常に読み取った帳票と読み取り時に異常が発生した帳票を異なるスタッカへ排出を行う。</li> <li>イ&lt;異常時確認モード&gt; 読み取りが異常だった場合のみ、読み取りを中断するモード。</li> <li>ウ&lt;常時確認モード&gt; 読み取りの正常/異常にかかわらず、1枚毎に読み取りを中断してスタッカへ排出した後、帳票のイメージと読取テキストを画面に表示するモード。</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用OCR装置で読み取った帳票の誤りを特定しやすくするため、汎用OCR用操作端末上にOCR画像データとテキストデータを対比して表示でき、テキストデータの修正ができること。</li> <li>・郵便番号から住所を特定し、候補を表示し、上書き修正を行えること。</li> <li>・不読文字に選択候補文字が存在する場合、候補文字をリスト表示して修正できること。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各帳票の修正項目フィールドに記入された項目番号、修正内容が、自動的にテキスト画面の対応する項目内容に反映されること。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト修正時に入力項目を選択した際、対応する画像データを切り出し、拡大表示することができること。</li> <li>・すべての作業をキーボードのみの操作で実施できること。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度更新処理を無停止モードで実施している場合にOCRデータをA-6a/7aサーバに送信できること。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度更新処理・無停止モード以外の場合に、確定したOCRデータをA-1サーバに送信し、その結果を1帳票ごとにA-1サーバ上の業務アプリケーションと連携させ、その結果を即時に画面表示できること。</li> <li>・サーバへ送信する際、OCR読取データ以外にOCR装置識別番号、読取日時、OCR読取通し番号、帳票種別、帳票束の識別子、読取操作を行ったユーザ識別子、画像（グレースケール8ビット階調）をサーバに送信できること。</li> <li>・OCR読取データを複数のサーバに対して送信する機能を実装可能であること（カスタマイズによる対応も可。）。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OCRデータのA-6a/7aサーバへの送信に失敗した場合に、そのデータを一時保存できること。保存されたデータは自動的に再送信できること。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作ログを保存できること。</li> <li>・保存されたログの保存期間の設定及び自動削除ができること。</li> </ul>